



惜しくも  
表彰台を逃した  
**4~6**位  
をまとめてチェック!  
全日本ジュニアスケート選手権大会  
All-Japan figure skating  
tournament

町田から託された  
世界選手権代表  
この時から新たなスタートが  
始まった



PHOTO/長田洋平/アフロスポーツ

## 14歳のジュニア山本が総合6位に のびやかな滑りに高い将来性が見える

SPで見事な演技を見せて2位につけていた町田。これ以上ないほどに美しく決まった4回転トゥループ+3回転トゥループを皮切りに、3回転アクセル、3回転ルッツも成功。情感たっぷりに演じたスピンの各種、ステップシークエンスもほぼ完璧の出来で90.16点という好成績を取る。町田の演技で観客の声援がひととき大きかったのも納得の出来だった。

だがFSでは、ずっと演じたかったという「第九」で少々力みが出たか、冒頭の4回転+2回転は成功するも、2本目の4回転トゥループで転倒。さらにコンビネーションの3回転アクセル+3回転トゥループが抜けてしまい、単独になってしまった。最後の3連続コンボも抜けて単独ジャンプになり、結果として152.45点。総合242.61で4位に終わる。SPの出来がよかっただけにFSの力みがなんとも残念に思えてならない。

5位にはSP78.54点、FS157.86点に無良崇人が入った。今シーズンはスケートカナダで優勝するなど絶好調だっただけに、この順位は少々本人にも物足りないか。

SPは冒頭の4回転トゥループを失敗。だが、3回転+3回転のコンビネーションにしてリカバリーしている。FSでは4回転+3回転のコンビで手をついた分、4回転トゥループを4回転+3回転にチェンジする機転を見せる。だが、後半に行くにつれて体力が限界にきたのか、ジャンプやスピンの精度が少しずつ落ちていったように見える。フアントムの最終形はもう少し先になるらしい。

そして、今回特筆したいのが6位に入った山本草太だ。若く14歳の山本は、先頃行われたJGPでSP1位、総合2位を獲得した逸材。昨シーズンに続いて、今回が2回目の全日本出場となる。

SPでは3回転アクセルに失敗するも、ダイナミックかつのびやかな演技で観客を魅了。ジュニアとは思えない安定感のある演技は次代の王子様候補としてびったりだろう。FSでも残念ながら冒頭の3回転アクセルは失敗したが、その他は見事に成功している。またスピード感あるスケートイング、ぶれないスピンはジュニアの域を超えて美しい。これからの成長がもっとも期待できる選手だ。

ジュニア勢の活躍が止まらない